

召にて、此馬を御取寄になりしなるべし。

〔閑窓自語〕月鐘摩貢琉球驢馬於關東事付先年貢大寬馬事

安永十年天明元年大國の汗血馬。二疋を關東へ異國より引かしの、これもふしみをとほりしを聞きしに、たけ五尺あまりすぐれたる馬にて、まことに目をおどろかす、見物せし人のたてるうへ

に、馬の脊ありとなん杜子美が詩に、胡馬大寬名ありといへるこれなり。

〔本朝食鑑十一〕馬略 ○ 中

集解、馬以關東之産爲上、故輿常爲第一、信州、甲州、上下野州、上下總州次之、關西之産劣弱不及也、近代九州有稍良者、就中薩州之産、高大強捷、不劣關西之産、或曰古來若斯焉、古者八月、信濃守奉勅、貢獻于駒六十匹略 ○ 中、十七日貢獻於甲斐穗坂牧馬、二十日貢獻於武州秩父立野牧馬十六匹、常州小野牧馬四十四匹、二十八日貢獻於信州望月牧馬二十四匹、上野州馬五十四匹略 ○ 中、近世江都使御馬職官遣于武州府中、常之秋田、與之仙臺、南部等地、擇良逸而市之、以奉京師、賜公侯以下、或入官廐也。

〔産駒地名録〕安房國峯岡御牧之名

一、牧 二、牧 上、牧 下、牧 東、牧 西、牧 久保山 墨山 高根タカネ 宮山ミヤヤマ 丸井 飯森イヒモリ ○ 中

小金牧者、寛政五年丑二月十九日、御納戸頭取岩本石見守殿掛りに而御改、佐倉牧者、同年六月十六日、同掛りに而御改、

下總國小金原御牧之名

上野 中野 下野 高田臺 中澤 印西シロ 白子 鎌井 流水 日暮 金澤 所澤 千飼チガイ

藤ヶ谷 小山 柴崎 馬柳 柏井 岩井 長澤 栗山 中根略 ○ 中

佐倉御牧之名

内野 取香トウカウ 柳澤 岩山 小間子コマゴ 矢作ヤハキ 油田ユダ 大竹 飯中 小泉 吉岡 駒井野 櫻田